

教養教育科目の履修について

● 英語の履修方法

教養基盤科目として、英語4単位（1年次2単位、2年次2単位）必修。社会情報学部生は火曜3～4時限が教養英語に割り当てられている。

*各学年3クラスに分かれる。クラス編成は2号館（GB155前）の掲示板などに張り出されるので必ず確認し、指定されたクラスに出席すること。

*教養教育「英語」の再履修者は、原則として再履修クラスを受講すること。

*1月実施のTOEIC IPテスト（1・2年生は全員受験）の結果が後期の「英語」の成績に20%分算入される。

*TOEIC, TOEFLなどの検定試験で教養教育の単位認定を希望する者は、各学期の履修登録期間中に申請すること。単位認定については、1年生は『履修手引（社会情報学部）』を、2年生以上は『教養教育履修手引』を参照すること。

● 英語以外の外国語科目の履修方法

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、韓国語の中から1つを選び、1年前期に2単位、1年後期に2単位を履修する。

* 詳しい授業内容はシラバスを参照すること。

* 質問は1号館（GA棟）1階事務、または末松・河島・井門まで。

専門外国語 I・II の履修について

● 履修方法

- * 必修科目で、I・II それぞれ 2 単位が必修である。（編入生を除く）
- * 外国語コミュニケーション科目（専門外国語 I・II、集中英語、専門英語短期派遣から）6 単位必修。（編入生を除く）
- * なるべく複数年度にわたって履修すること。
- * 人数制限を行う。1 クラス 40 人程度。なお科目によって人数をさらに制限する場合もあるので、必ず第 1 週目に受講希望クラスに出席すること。

● 専門外国語 I（前期）開設科目

- I-A ラドキー（木曜・9～10 時限）ディスカッション・ディベート
- I-B 藤枝（火曜・9～10 時限）ライティング
- I-C ムラモト（水曜・5～6 時限）リスニング
- I-D ソーパー（火曜・7～8 時限）ビジネス・イングリッシュ
- I-E 長（水曜・5～6 時限）TOEFL/TOEIC

● 専門外国語 II（後期）開設科目

- II-A 末松（水曜・3～4 時限）人文学に関する原書講読
- II-B 井門（水曜・3～4 時限）言語学に関する原書講読
- II-C 河島（木曜・5～6 時限）社会問題に関する原書講読
- II-D 堀（木曜・5～6 時限）心理学とその周辺領域（社会学、文化人類学など）に関する原書講読、時事問題についても資料を提供することがある
- II-E 堀（金曜・5～6 時限）心理学とその周辺領域（社会学、文化人類学など）に関する原書講読、時事問題についても資料を提供することがある

- * 詳しい授業内容はシラバスを参照すること。
- * 質問は 10 号館（社情棟）3 階事務、または末松・河島・井門まで。

集中英語（後期・集中講義）の履修について

集中英語（後期・集中講義）には、教育上の理由と担当教員からの要望により、履修制限（40名程度）がある。履修希望者多数の場合には抽選を行ない、抽選の当選者にのみ履修を認める。

* 授業内容はシラバスを参照すること。

* 質問は10号館（社情棟）3階事務、または末松まで。

参考資料（履修手引・シラバスより）

ネイティブ・スピーカーによる集中講義形式の授業。オーラルワークを中心とした英語による活動を通じ、英語で思考し、英語でより効果的にコミュニケーションする能力を伸ばす。更に、西洋と東洋間の、特に英米と日本間の、異文化相互理解を深める。又、例えば、地球環境問題のような現代的話題やニュースについて、英語でプレゼンテーションをし、議論する。レベルは中・上級。

科目名：集中英語

担当：ミッシェル・スティーラー

単位：2単位

講義日時：後期 集中（2019年度は2月（期末試験後）に開講）

授業の目標および期待される学習効果

To build the necessary skills, including vocabulary, writing, speaking, and listening, for more effective communication in English; also to develop cross-cultural awareness and understanding. We will explore aspects of Western and Eastern cultures, primarily American and Japanese, with the intention of expanding our perspectives. We will also explore global issues, such as the environment, and explore ways in which we all play a part in such concerns.

授業の展開（授業計画）

Topics to be covered in the English Intensive Course

Day 1: Introductions, Hobbies and Interests, Preferences, Experiences.

Day 2: School life, Shopping and Money, Food.

Day 3: Music, Movies and TV, Work,

Day 4: Travel, Culture, World problems,

「専門英語短期派遣」の単位認定について

平成28年度以降に入学した学生が短期留学期間中に行った学修について、以下の基準にしたがって「専門英語短期派遣」の単位認定を行う。

1. 「専門英語短期派遣」の単位認定は、群馬大学が実施する海外短期派遣プログラムで、所定の基準を満たすものを対象とする。
2. 同一プログラムで「専門英語短期派遣」と教養教育科目の両方の単位認定を行うことはできない。
3. 「専門英語短期派遣」の単位認定は、在学中に1回限りとする。
4. 単位認定の手続きについては、教務委員会が提案し教授会の審議を経るものとする。

【補足】

- ・単位認定申請は、交換留学生（派遣）単位認定と同様の手続きに則り、申請書、及びプログラムの内容（派遣期間、学修時間など）が確認できる資料を提出することとする。
- ・申請書にプログラムの内容などを記入の上、担当者（末松・河島・井門の3名）からサインをもらうこと。
- ・過去に単位認定が行われた海外短期派遣プログラム
 - サンディエゴ州立大学（春）短期派遣
 - ウーロンゴン大学（春）短期派遣
 - キール大学（夏）短期派遣
 - ディーキン大学（春）短期派遣（GFL生用）

* 質問は10号館（社情棟）3階事務、または末松・河島・井門まで。